

海老名の桜と史跡巡り

実施日：2020年3月28日

コース：相鉄・さがみ野駅(WC)→さくら並木商店街→八軒庭稲荷社→目久尻川沿いの桜並木→
産川橋と護王姫ゆかりの碑→北部公園→清水寺公園（龍峰寺・弥生神社）→相模国分尼寺
跡→逆川船着場跡→相模国分寺跡→海老名市温故館 解散 12時30分頃予定
最寄り駅 海老名駅（相鉄・小田急・JR） 約（6km）

No.	見所	由来・史跡
1	八軒庭稲荷社	天正10年（1582）天目山の戦いで敗れた本庄氏の一族八名がこの地に逃れ、八軒で集落を作り、地域の氏神として創建したといわれています。
	目久尻川	川の名の由来はいくつかの説がありますが、以前の目久尻川の流れには、U字形をした場所や直角になっている所があって、大水のときは水の勢いが、出っ張っている川岸の土をえぐり取って流してしまっただけでなく、このように、目にあまるほど川岸を削り取るので、「目久尻川」の名がついた。というのが、本当の理由ではないでしょうか。
2	産川橋と護王姫ゆかりの碑	永享の乱（1438）で護王姫（今泉館夫人）は落ち延びる際、橋のたもとで出産したことから名付けられた。姫は出産後亡くなり、子供も追討軍に殺されたといわれています。
3	龍峰寺	室町時代の南北朝期（1331～93）に創建されたと云われ、昭和4年（1929）に海老名小学校近くから、この地に移転した。古くは清水寺と呼ばれた。文化財には国指定の千手観音、市指定の観音堂、仁王門、仁王像などがあります。
4	弥生神社	明治42年（1909）に近隣4社を合祀、3月に建てられたことから弥生神社と命名。国分村・八幡社、上今泉村・比良神社、柏ヶ谷村・第六天社、望地・大綱神社
5	相模国分尼寺跡 （国指定史跡）	天平13年（741）聖武天皇の「国分寺建立の詔」により建てられた国分寺の北方約600mに位置している。建立は8世紀後半頃といわれ、発掘調査により、伽藍の配置あとが確認されました。遺構の保存状態は良いです。
6	逆川船着場跡	逆川は最古の人工の水路で、目久尻川から水を取り入れて海老名耕地に流れていた。国分寺付近では南から北に流れていたため「逆川」と呼ばれるようになった。この船着場跡は、平安時代以前に造られたと推定されています。
7	相模国分寺跡 （国指定史跡）	尼寺同様「国分寺建立の詔」により創建された。全国でも珍しい「法隆寺式伽藍配置」、南北300m、東西240mという広大な寺域を占め、全国の国分寺の中でも最大クラスの規模であった。建物の跡は七重の塔、金堂、講堂、僧房、鐘楼、経蔵、中門、回廊などが確認されています。
8	海老名市温故館	大正10年（1921）相模国分寺跡が国指定史跡となり、国分寺跡保存整備事業の一環として、考古学資料等を保管・展示するため「遺物陳列館」を尋常高等海老名小学校の校庭に設置したのが始まりです。その後数度の移転を経て、現在の場所に移築し、平成23年（2011）にオープンしました。

コースは道幅・歩道が狭いところがあるので、横に広がらないようにご協力をお願いします。

次回案内

12年に一度ご開帳の子歳観音巡り

4月18日(土) JR横浜線 小机駅改札口 9時00分～15分

会員募集中 ! *問い合わせ先* せや・ガイドの会 竹見 (☎090-3900-6469) まで。

ホームページ「せや・ガイドの会」[検索] <http://www7b.biglobe.ne.jp/~seya-guide/index.html>